

「花の苑タイムズ」

伝統の「しんたかお祭り」が開催 新高尾地区文化祭「ご利用者らが参加」

新高尾地区の伝統行事・第三十四回「新高尾地区文化祭」が十一月三日、大勢の地元住民が集う中、新高尾小体育館で盛大に行われました。

文化祭では地元保育園児の遊戯、新高尾小・中尾中の生徒による楽器演奏に加え、新保田中地区に古来から伝承されている「石投げ踊り」などが保存会により披露されました。その他、地元地域で日頃から活躍されている



作品展も賑わう

一方、同文化祭作品展の部では、新高尾公民

館で三日間行われ、各サークルによる絵画作品の他、写真、書道、手芸などの力作が展示され、大勢の来場者で賑わいました。



「ご利用者八名が参加
高崎花の苑では、地域交流推進の一環で毎年ご利用者の代表が参加しており、今回は六名のご利用者、三名の職員が参加し、地域との交流を深めました。」

リレー・フォー・ライフ がんま2018に参加

がん征圧・がん患者支援チャリティウォークイベントが十月六日、七日の二日間、アルソックぐんま総合スポーツセンターで開かれました。これには、高崎花の苑職員が日高会グループ職員とともに参加し、がん征圧を目指す各種チャリティ

平成30年11月10日発行
★★第50号★★
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

苑内スポット

今年も市内下豊岡町・小林農園様より小菊の鉢植え(写真)を頂き、各ユニットのベランダなど



活動に取り組みました。
入浴の際、ご利用者人気の職員手作りの壁面作品(二号館浴室・写真)が、季節の移行により変わりました。



十月交流イベント

今月も大正琴の紫陽花会をはじめ、みやまハーモニカクラブ、なかよしクラブの手作りショー、たかばやし民謡教室、歌声カフェ(岡田/佐々木様)など多彩な交流イベントが開催されました。



「瑞宝小綬章」を受章(安藤理事長)
日高病院元院長で、医療法人社団日高会・安藤保健衛生分野における長年の功績により「瑞宝小綬章」を受章しました。

「花の苑タイムズ」発行五十号記念

このたび「花の苑タイムズ」発刊五十号の佳節を迎えることが出来ました。これもひとえに、関係者および読者の皆様のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。「花の苑タイムズ」はこれからも、施設とご利用者、そして地域を繋ぐ地域交流紙としての視点に立ち、発行を継続していく所存です。これからも更にご支援賜りますようお願い致します。

このほど五十号発行を記念して、利用者ご家族より激励のメッセージを頂きました。このうち、一号館入所者様のご家族(R・O様)から「母の入所」と題する原稿を寄せて頂きましたので原文のままご紹介いたします。また、各ユニット入所者のご家族様から記念のコ멘トを頂きましたので掲載致します。これからは「花の苑タイムズ」のご愛読をよろしくお願い致します。

「母の入所」

この度は「花の苑タイムズ」発刊五十号、誠にめでたくございます。母は他の施設から転院・入所したのですが、その五日程前から歯痛になり、何も食べられない状況に陥っておりまして、九十七歳の高齢の本人は、原因も判らず、すっかり気落ちして元氣もなく、ただ寝ているのみでした。早速、昼食が運

ばれてきましたが、介護士さんが「痛くない方で食べてみようよ。少しづつ入れてやるからね」と促がされ、しばらく振りに口にされたのを確かめるように食べ、「ほら食べられたでしょ。じゃ、少しづつね」という介護士さんの上手な誘導で徐々に食べられるようになり、また、歯科医師の先生も熱心で適切な診療をして下さり、日毎に痛みが取れ完治したので

す。信頼感が生じ、新しい環境に慣れることが出来ました。入所早々、多くの方々にお世話になり、不安を一掃し、平常心を取り戻すことが出来たのを覚えています。入所者にとって最初の言葉がけが大切、そして魔法の言葉になるのだと痛感させられました。

五十号の発行おめでとうございます。これからも沢山楽しいイベントを開催して、記事を載せて下さい。うちの母も元気でイベントに参加して欲しいです。目指せ、百号ですネ。頑張ってください！
(一号館Cユニット
利用者ご家族 Y様)

「花の苑タイムズ」いつも楽しみにして読んでいます。特に交流イベントの記事や写真を見ると、皆楽しそうでいい顔していますね。これからも頑張ってください。
(二号館Eユニット
利用者ご家族 K様)



「花タイ」50号の歩み、「花タイ」の歩み、節目となる各発刊号一面の写真で振り返ります。
第40号 第30号 第20号 第10号 創刊号

地域交流作品展

今月の地域交流作品展は、ご利用者ご家族の堀澤秀様による「季節の写真展」を展示しています。今回は堀澤様がこの秋、志賀高原（上信越高原国立公園）を訪れた際撮影された、深まりゆく秋の風景をとらえた作品です。



秋の避難訓練

今年度二回目となる避難訓練が十一月二日実施されました。今回の避難訓練は、今年度高崎市の苑各種委員会に新たに加入した防災防犯委員会発足後初めての訓練となり、委員会のメンバーを中心に参加しました。今回は夜間の火災を想定し、火災報知器設備の取り扱いや通報の手順、



初期消火、避難誘導の訓練を行いました。また、水消火器を用いそれぞれが消火器の使い方を確認しました。

訓練終了後、高崎北消防署担当者より「出火場所の特定は焦らず、かつ効率的にできることが望ましい」「通報やご利用者の避難誘導など、職員の役割分担を明確にすること」など評価を頂きました。

今回の訓練で得たことを活かし、施設として適切な対応ができるよう防災防犯委員会を中心に取組んでいく予定です。

雑感手帖

加藤和昭

秋深まりました。ゆっくりと私の体重も右に上昇。大学卒業前には五十八キロでしたが、現在は六十四〜五キロ程。二十年近く経ちすっかり中年となり、こんなものかなと臍の脂肪を掴んでみる。私的見解では、脂肪とは不適切な生活習慣や不摂生な食事の延長に存在する「怠惰の象徴」である。

元来、脂肪は体につくモノと思っていました。最近、正確には二年程前からわかってきたことがある。脂肪は色々なものに付くことを、「人の心」にも、もっと言えば「組織」にも付く。高崎市の苑に余分な脂肪が付かないように、定期的に会議では我々の存在意義や基本方針を伝えます。研いでおかないと脂肪がつく。脂肪がつくと妥協し、目的を見失います。

高崎市の苑は、いつまでもシュッシュとしていた。

「近隣の紅葉散策」

(施設長)

三号館ユニットおよびシヨートユニットでは、先日近隣の日高病院駐車場まで紅葉散策に出かけました。春は見事な桜が訪れる人を魅了する場所ですが、今何本ものケヤキとともにすっかり色付き、これから迎える冬に備えています。

ご利用者の皆様は異口同音に「綺麗だね」と話され、周辺の木々を眺めておられました。この日はそのあと、日高病院の六階にある展望レストランまで足を延ばしました。ここでは、遠くに青々とそびえる榛名山や浅間山などの山々をゆっくりと眺めてきました。



ご利用者は「こんな景色を見ながらご飯が食べたいね」と語られ、次の機会に期待を寄せていました。また他の利用者様は「紅葉が見られて良かった」と感想を述べていました。

「紅葉ドライブ実施」

本格的な紅葉シーズンを迎えH・Iユニットではこのほど、「紅葉ドライブ」を実施しました。

この日の午前中は、朝からの雨が上がり雲間から青空が見え始めた中、Iユニット・志田恭子様が今は亡きご主人の思い出深い榛名山へお出掛けになりました。窓越しに見える湖畔や山々はめっきり色付き、榛名山湖で遊んだ若かりし頃をしのびながら「紅葉ド



秋晴れの天気がすっかり落ち着いた午後は、Hユニット・渡邊恒夫様はじめ三名が高崎公園および観音山公園へ。

高崎公園は紅葉とまではいかないまでも、木々の色づきや香りで秋らしい雰囲気にも包まれていました。そして、車は観音山公園へ。皆様はその車窓から見える青々とした山々や、赤や黄色に染まった街路樹をながめながら「綺麗な風景だね」などと感想を漏らしていました。

観音山公園では、公園内を散策し、深紅に染まったもみじを眺めながらしばしの歓談を楽しみました。(H・Iユニット A)

ユニットたより

「秋空に響く和太鼓」

B・Cユニットでは、神龍我峰八幡太鼓の皆様にお越し頂き和太鼓演奏を披露して頂きました。当日、ユニット内では「今日は、太鼓が来るんだってよ！」とニコニコと話される方もいました。この日は天候にも恵まれ、会場となった玄關前の広場には、全ユニットのご利用者も参加され盛大な演奏会となりました。

太鼓の音が施設全体に響き渡ると、迫力あるその演奏に皆さん聞き入っておられました。太鼓のリズムに合わせて両手を力いっぱい叩いているご利用者や、小さな子供の演奏者に顔を緩めてご覧



になつていたり様々な姿が見受けられました。また、途中では太鼓を叩かせて頂く体験コーナーもあり、軽快にトントン楽しそうに叩く方や「俺は、良いよ・」と遠慮がちに言われる方も叩いてみたら、あれ？面白い・♪と感じたのか夢中になっていました。澄み切った秋空の下、外気に触れながら参加した和太鼓演奏会は、ご利用者にとって大変素晴らしい時間だったと思います。(B・Cユニット K)

「三種目で秋の運動会」

Dユニットでは十月末、秋の運動会を行いました。種目は、フワリフワリゲーム、玉入れ、パン食い競争の三種目。このうち、フワリフワリゲームは、全員でシ



ツの端を持ち、その上にボールをのせて動かし、ボールを相手の陣地に落とすゲームです。玉入れは、職員による手作りの玉を、床に置いたカゴに入れ、その数を競い合うもので、両ゲームともチーム一丸となりユニット内はとて盛上がりしました。そして最終種目は、パン食い競争でした！皆さんの前に自分のおやつになるパンが吊られていたので必死に食いついていました。皆さんの素敵な笑顔が



ユニット内に溢れ、何より利用者様にとって最高のリフレッシュができたのと同時に、この秋一番の思い出となりました。(Dユニット K)

「多種カッパ麺を美食」

E・Fユニットでは、昨年に続き「ミニカッパ麺を食べる会」を行いました。定番しょうゆ味をはじめ、ワンタン、豚骨、焼きそばなど様々なリクエストにより九種類を品揃え。小さなカッパは、個別に丁度良く、具も沢山あり、出汁が何と云ってもやみつきのお味。お湯を注いだ瞬間に広がるいい香りと、にややかな表情。焦がしんにく、みそ、ソースの臭いが食欲をそそり、皆様あつという間に完食されていました。



体にはあまり良くないであろうと思いつつも、美味しいスープの魅力に最後まで飲み干され、うっとりとしたため息があらこちらで漏れていました。

中には人生初の春雨スープに挑戦され、想像以上の美味しさに絶賛された方もいました。会を終えて、リターンズを所望されていた方に「生麺タイプもありますよ」と耳打ちすると「もっと早く教えてくれなさい！次はそれを食べたい！」と、早くも次回に期待を膨らませておりました。

いろんな刺激で、普段味わえないようなお楽しみ会を演出していきたいです。(E・Fユニット Y)

委員の一言メモ

★今年も残りわずか。体調を崩されている方が多い気がしますが、皆様お身体には気を付けて下さい。(健康第一です！貴)
★鍋の季節ですね。近頃いろんな鍋があるので、今年の冬も沢山作りたいと思っております。(奈)
★朝晩寒い日が続いていますね。最近、コンビニに寄るとついついおでんを買ってしまいます。(明)
★「雨が降れば猫の顔が三尺になる」ゆっくりと寒さ対策したいですね。(恵)
★寒くなってきたので風邪等を引かないよう体調管理に気をつけていきたいです。(羽)
★先日「紅葉ドライブ」はとっても良かったです。また実施したいと思っております。(章)
★これからも皆様とのつながりになる広報紙を作っていきたいです。(美)
★「花タイ」五十号完成。これを機にまずは百号を視野に挑戦。題号も委員のY職員が作成したロゴ体になりました。今後もお愛読を。(井)